

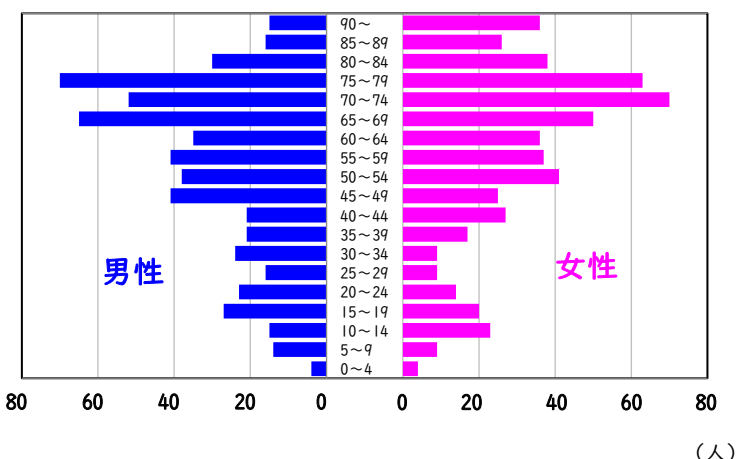
高士区



人口	1,122人
うち外国人	5人
世帯数	460世帯
高齢化率	47.3%

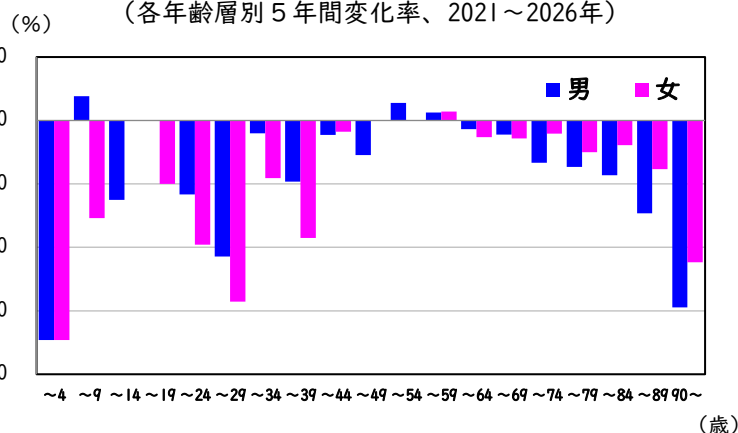
※2026年4月末時点の
住民基本台帳人口

男女年齢別人口



コーホート変化率

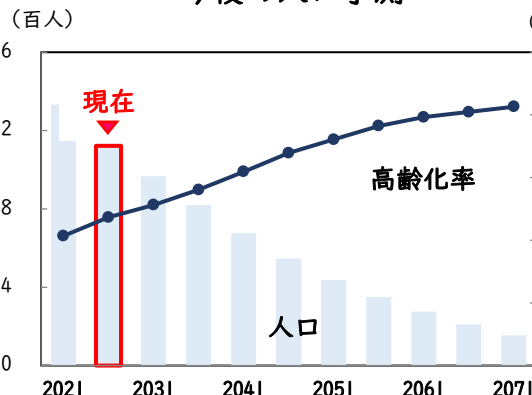
(各年齢層別 5 年間変化率、2021～2026年)



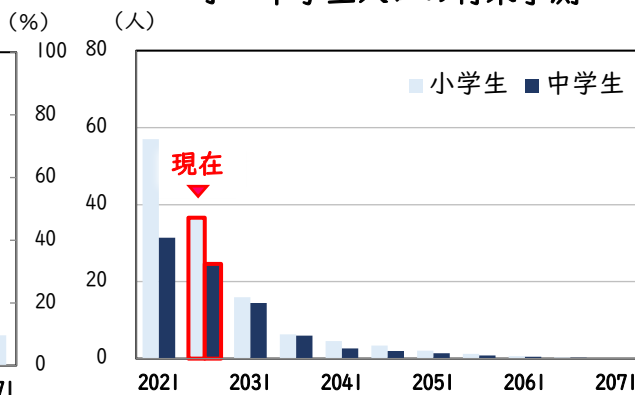
シナリオ①：現行推移

このままのペースで増減が続いたらどうなるか。

今後の人口予測

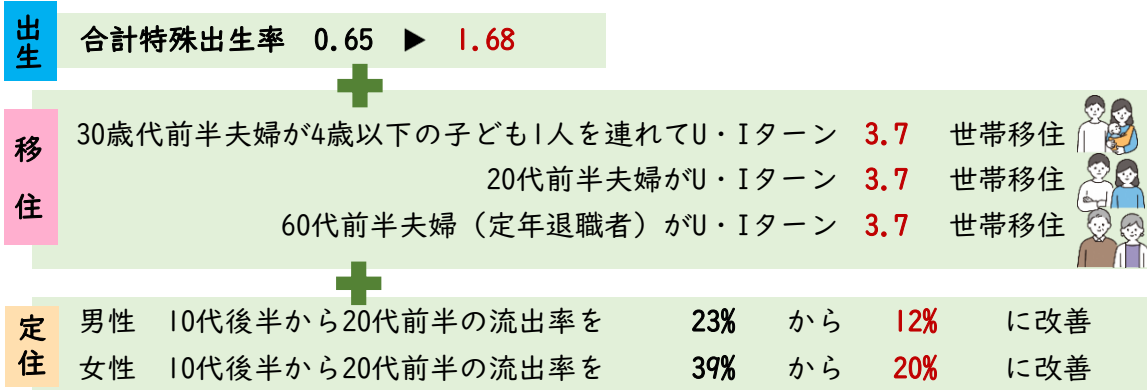


小・中学生人口の将来予測

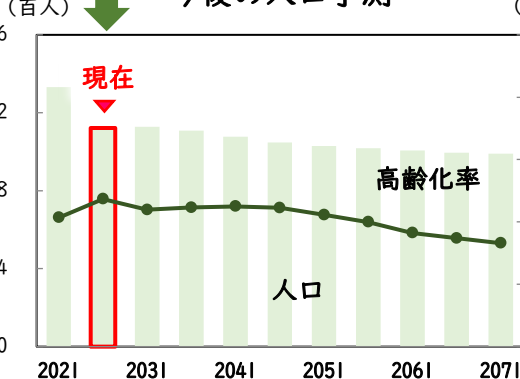


シナリオ②：組み合わせ最適モデル

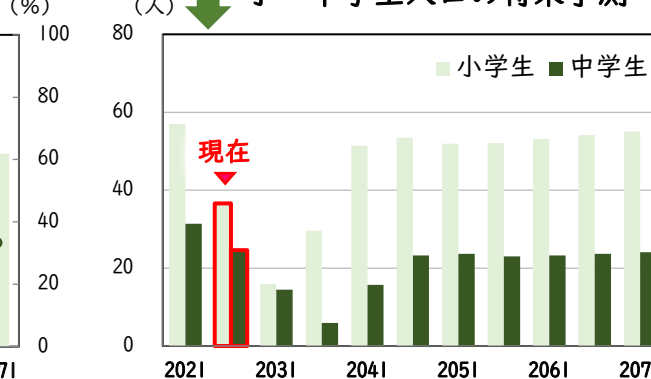
定住促進に取り組み、毎年、以下の目標が達成できたらどうなるか。



今後の人口予測



小・中学生人口の将来予測

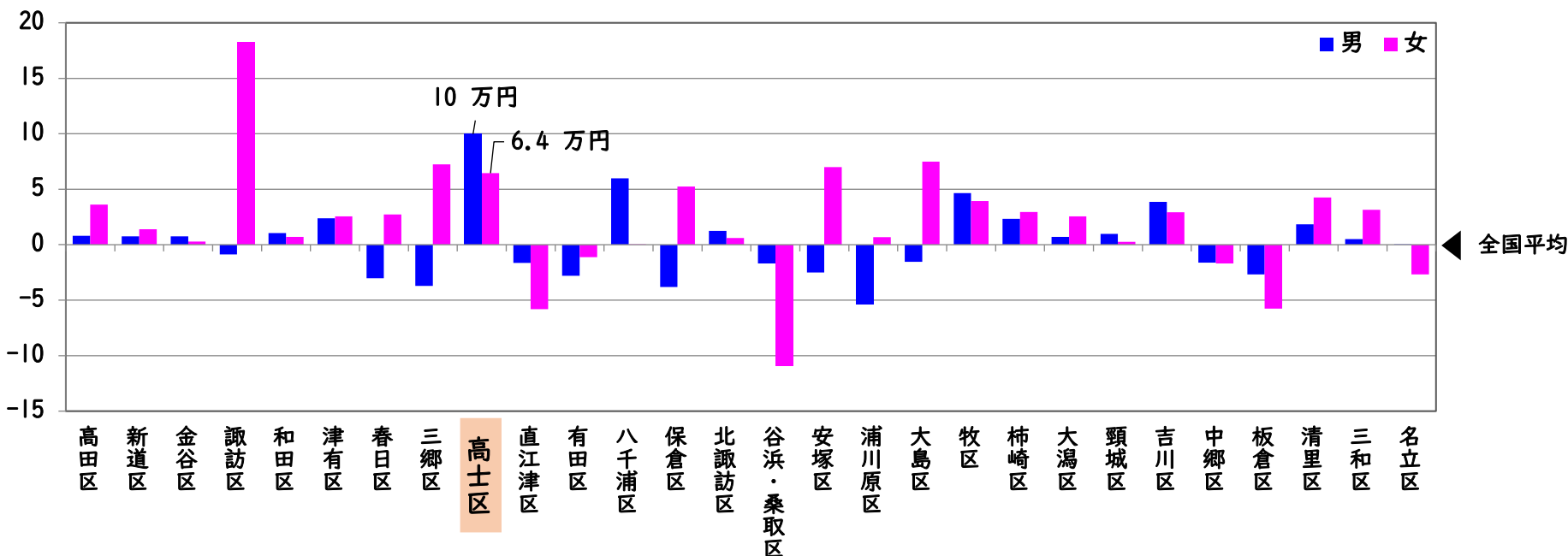


介護分析 ：各地域自治区と全国の平均的介護費用の比較（28区別）

被保険者1人当たりの年間の介護費用を地区ごとに全国の平均的介護費用と比較してみます。

※地域での暮らしが高齢者の健康度に及ぼす影響を調べるため、特別養護老人ホームに入所している人は前住所地で分析を行っています。

(万円/年)



男性：高士区は全国平均より 高額（介護費用が多い）

女性：高士区は全国平均より 高額（介護費用が多い）

介護分析：高士区の「お達者度」（介護認定の状況）

高士区の65歳以上の介護認定の状況

小 介護サービス必要量の度合い 大

認定者以外



約77%

要支援1・2



約5%

要介護1・2



約8%

要介護3～5

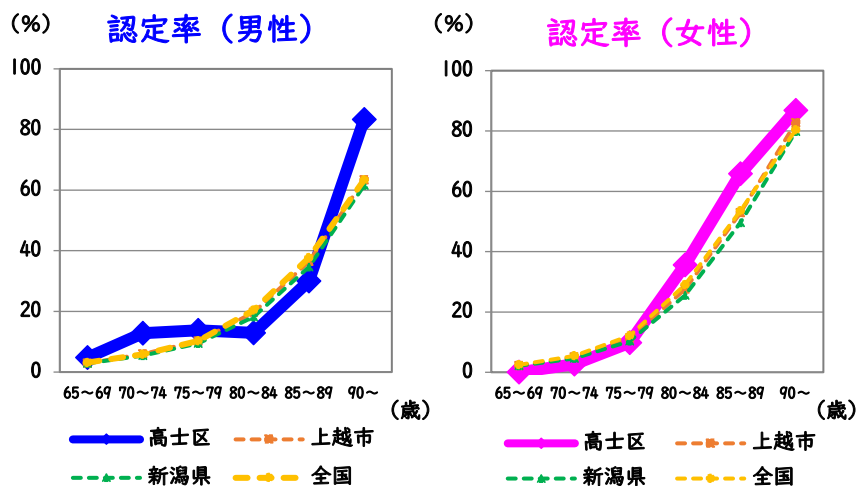


約10%

高士区の高齢者のうちの**約23%**が介護認定を受けています。

概要

(1) 年齢階層別の介護認定率



高士区は、全国平均と比較してどんな地域？

- 認定率 男性 **高め**（特に70代前半、90代～）
女性 **高め**（特に80代～）

全国平均と比較して、程度は様々だが、介護や支援を必要とする方が男性、女性ともに多い地域である。

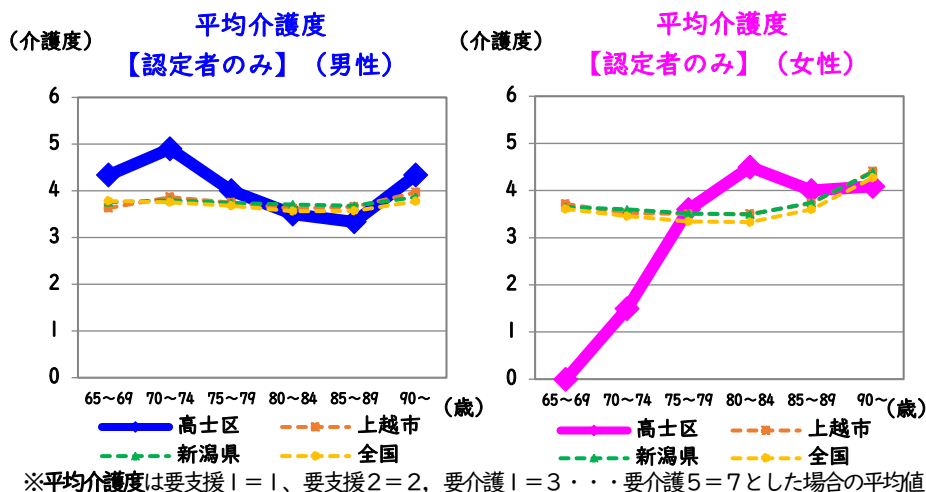
- 認定者の平均介護度 男性 **高め**（60代後半～70代前半）
女性 **高め**（80代前半）

全国平均と比較して、程度は様々だが、男性、女性ともに手厚い介護を必要とする方が多い地域

（「低め」は「一人当たりの介護度が小さい」、「高め」は「一人当たりの介護度が大きい」という見方もできる）

結論

(2) 年齢階層別の平均介護度



高士区

地元関係図（高士区で活動する組織の一覧）

子育て・教育

より広域を活動範囲とする団体
市全体や市外

雄志中学校

雄志中学校区
青少年育成会議

福祉

市社会福祉協議会

高田の郷地域包括
支援センター

第6地区民生委員・
児童委員協議会

コミュニティ・その他

市町内会長連絡協議会

市老連連絡協議会

中部まちづくりセンター

農林（漁）

JAえちご上越
上越営農センター

猟友会
（上越支部）

商工・観光

上越商工会議所

上越青年会議所

岩の原葡萄園
上越酒造

防災・交通

市消防団

市防災士会

市防犯協会

市交通安全協会

高士区地域協議会（事務局：中部まちづくりセンター）

高士地区振興協議会

高士小学校 PTA

小中学校運営協議会

高士保育園
※新保育園統合 保護者会

高士小青少年育成協議会

たかしこどもの家

高士地区公民館

すこやかサロン

ひとふさの会

住民福祉会

健康づくり推進委員会

高士地区
食生活改善推進員会

高士地区
運動普及推進員会

高士地区町内会長協議会

高士地区老人クラブ連合会

高士地区婦人会

総合型地域スポーツクラブ
高士地区体育協会

稲谷【だんとうの大杉】保存会

高士地区多目的
研修センター

高新会

郵便局（1）

高士地区
雪まつり実行委員会

高士地区
防災防犯協会

交通安全協会
高士支部

市防災士会
高士支部

上越南消防署
高士分遣所

市消防団
高士分団

地域の中心となる
コミュニティ（地域自治区）

地域の中心となるコミュニティ
（昭和の合併前の村、小学校区など）

公民館利用団体

より小さなコミュニティと
同等の範囲を活動範囲とする団体

町内会（14）

こども会

活動組織（5）
（多面的交付金）

農家組合

消防部（6）

自主防災組織